

エトセトラの時間

見えるものと見えないものを語る会

目の見える人と見えない人が
8ミリフィルムと一緒に囲むオンライン・ワークショップ



画像① メインビジュアル (イラスト: 進士遙)

2022年 10月10日 (月・祝) 11月23日 (水・祝) 12月17日 (土)

本事業に関するお問い合わせ: 生活工房 石山 (広報)、佐藤、中村
〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー
TEL / 03-5432-1543 Email / info@setagaya-ldc.net

Summary

生活工房では、昭和 30 ～ 50 年代に普及した 8 ミリフィルムのデジタル・アーカイブとして、全 84 巻の映像をウェブサイト「世田谷クロニクル」(<https://ana-chro.setagaya-ldc.net/>)で公開しています。ここに収録されているホームムービーには、市井の人々の営みが記録されています。それは必ずしも歴史的に重要とされる内容ではありません。いわば、「その他もろもろ」として括られてしまう、たくさんの「エトセトラ」が写りこんでいます。



世田谷クロニクル
QRコード

本プログラムでは、目の見える人、見えない人、障害の有無にかかわらず、一人ひとりの視点を持ち寄って映像を囲みながら、言葉にしていきます。鯉のぼりの色や質感、三輪車のハンドルについているひらひら、カメラの外に向けられた子どもの眼差しなど、一緒に見ることで気づく小さなエトセトラ。参加者それぞれの言葉や音声の一部は、映像解説としてオンラインで公開します。

無音の映像を前に交わす言葉には、ときに個人的な記憶も含まれ、視覚情報を補うための「音声ガイド」とは異なるものになるでしょう。映像記録が残ったアーカイブをつかって、映像記録に残っていないアーカイブをつくりなおす試み、ともいえるかもしれません。一緒にオンラインで映像を囲みながら、「エトセトラ」の時間をお楽しみください（手話通訳あり）。



画像② 前回の様子（2022 年 2 月 23 日）

（要約）

目の見える人と見えない人が一緒に 8 ミリフィルム映像を鑑賞するオンライン・ワークショップ。昭和のホームムービーを囲みながら、映っているもの、映っていないもの、思い出した個々の記憶を言葉で交わす時間を楽しみます。その音声を編集し、新たな映像解説としてオンラインで聴けるようにします（手話通訳あり）。

Topics

◎昭和のホームムービーを見る、話す、思い出す

8 ミリフィルムの多くは音がなく、視覚障害者が視覚情報を補うための「音声ガイド」もついていません。さらにホームムービーという性質から、明確なストーリーもなく、登場人物の関係も明らかでないことが多々あります。このプログラムの特徴は、こうした映像を繰り返し見ながら、それぞれが気づいた映像のディテールや、呼び覚まされた個々の記憶を語ることにあります。映画やテレビとは異なる、映像のユニークな鑑賞体験を提供します。

◎「見る」とは何か。 映像を言葉と音声に置き換えてみると？

映像を囲みながら交わした音声に編集を施し、あらたな映像解説としてオンラインで聴けるよう蓄積していきます。目に見えるものを、聞こえるものに変換する試みです。視覚情報が音声情報に変換される時、取りこぼされてしまうものは何なのか。映像鑑賞をとおして、あらためて「見る」とは何かを考えます。

Profile

視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

全国の美術館や学校などで目の見える人、見えない人が言葉を介して「みること」を考え会話する鑑賞プログラムを企画運営している団体。2020 年以降はオンラインで美術館や鑑賞者をつなぐ鑑賞プログラムを実施。最近の主な活動は、2017 年から継続している東京都写真美術館での鑑賞プログラムなど。



画像③ 東京都写真美術館でのワークショップの様子
photo: 中島佑輔

About

穴アーカイブ: an-archive

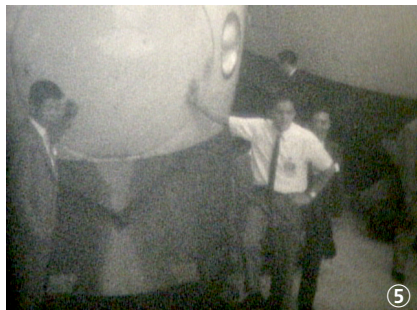
記録が残らないこと、残せないこと、すなわち、記録の不在（穴）から、記録を残すという営みを捉え直す反（an）アーカイブのアーカイブを試みるプロジェクトの総称。昭和 30-50 年代にかけて一般家庭用に市販されたはじめての映像メディア、8 ミリフィルムに着目し、世田谷のまち・ひと・暮らしに光をあてる活動として 2015 年から始動。生活工房が主催し、事業の企画制作をremo[NPO 法人記録と表現とメディアのための組織]が担う。2019 年、全 84 巻の映像をウェブサイト「世田谷クロニクル」で公開。「エトセトラの時間」は、映像アーカイブの利活用から派生したプログラム。



画像④ 穴アーカイブで実施している
「せたがやアカカブの会」の様子

Movies

① 10 月 10 日 (月・祝)
「新幹線試乗」



1964 (昭和 39) 年 10 月 1 日 / 新幹線車内 (東京 - 新大阪間) / 12 分 50 秒

② 11 月 23 日 (水・祝)
「井の頭公園」



1960 (昭和 35) 年 11 月 27 日 / 井の頭公園、多磨霊園、自宅 (船橋) / 12 分 35 秒

③ 12 月 17 日 (土)
「No.1」



1963 (昭和 38) 年 11-12 月 / 日比谷公園、会社寮 (三宿)、銀巴里など / 3 分 30 秒

Outline

エトセトラの時間

(タイトル)

見えるものと見えないものを語る会

(サブタイトル)

開催日 ① 10 月 10 日 (月・祝)、② 11 月 23 日 (水・祝)、③ 12 月 17 日 (土)

時間 14:00 ~ 16:30 ※各日完結

会場 オンライン (Zoom ミーティング)

定員 8 名 (申込抽選)

申込締切 ① 9 月 26 日 (月)、② 11 月 9 日 (水)、③ 12 月 3 日 (土)

申込方法 生活工房ホームページ内の申込フォームより

参加費 無料

お問合せ 公益財団法人せたがや文化財団 生活工房

154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-1-1

TEL 03-5432-1543 Email info@setagaya-ldc.net

www.setagaya-ldc.net

主催 公益財団法人せたがや文化財団 生活工房

企画制作 remo [NPO 法人記録と表現とメディアのための組織]

視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

後援 世田谷区、世田谷区教育委員会

「エトセトラの時間 見えるものと見えないものを語る会」 広報用画像の貸し出しについて

広報用の画像をご用意しています。ご希望の際は貸出条件をご確認いただき、下記①～⑨の必要事項を明記のうえ、Eメールにてお申し込みください。

なお、本企画の紹介記事をご掲載いただく際は、恐れ入りますが情報確認のため、掲載前に校正原稿をお送りください。

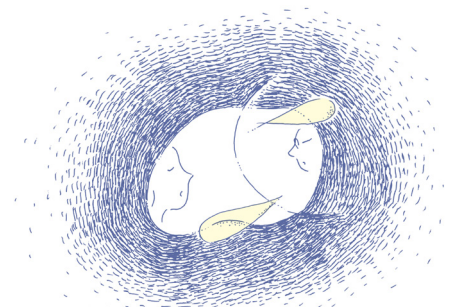
また、掲載後、掲載誌、URL等を広報担当宛てにお送りいただきますようお願い申し上げます。

【貸出条件】

- ◆画像は本企画紹介の目的のみにご使用ください。
- ◆画像データは、ご使用後必ず消去してください。
- ◆画像データを第三者に渡すことを禁じます。

【必要事項】

- ① 媒体名（雑誌名／番組名／WEBサイト名ほか）
- ② 媒体種別（新聞／雑誌／フリーペーパー／テレビ／ラジオ／WEBサイトほか）
- ③ 発売・放送・更新予定日
- ④ 御社名
- ⑤ ご担当者名
- ⑥ 御社住所
- ⑦ Eメールアドレス
- ⑧ 電話番号
- ⑨ ご希望の画像番号



画像⑧ サブビジュアル（イラスト：進士遙）

画像①（P1 掲載） イラスト：進士遙

画像②（P2 掲載） 前回の様子（2022 年 2 月 23 日）

画像③（P3 掲載） 視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップが、
東京都写真美術館で実施したワークショップの様子 photo: 中島佑輔

画像④（P3 掲載） 穴アーカイブで実施している「せたがやアカカブの会」の様子

画像⑤（P4 掲載） 「新幹線試乗」（1964（昭和 39）年 10 月 1 日／新幹線車内（東京 - 新大阪間）／12 分 50 秒）

画像⑥（P4 掲載） 「井の頭公園」（1960（昭和 35）年 11 月 27 日／井の頭公園、多磨霊園、自宅（船橋）／12 分 35 秒）

画像⑦（P4 掲載） 「No.1」（1963（昭和 38）年 11-12 月／日比谷公園、会社寮（三宿）、銀巴里など／3 分 30 秒）

画像⑧（P5 掲載） イラスト：進士遙

生活工房 広報担当 石山 行き Email info@setagaya-ldc.net